

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2003-204961(P2003-204961A)

【公開日】平成15年7月22日(2003.7.22)

【出願番号】特願2002-3321(P2002-3321)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 6/03

G 0 6 T 1/00

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 7 0 B

A 6 1 B 6/03 3 5 0 R

A 6 1 B 6/03 3 5 0 U

G 0 6 T 1/00 2 9 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月5日(2005.1.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体の所定のスライス面をスキャンして取得された投影データを再構成し断層像を生成するX線CT装置において、前記投影データに関連付けて取得された心電情報に基づいて前記被検体の所定の部位におけるモーションアーチファクトが少ない静止心時相を検出する検出手段と、前記検出手段が検出した静止心時相に対応する投影データを再構成して前記断層像を生成する画像再構成手段とを有すると共に、

前記検出手段は、前記被検体ごとに予め求められる前記心電情報と前記静止心時相との相関データに基づいて前記静止心時相を検出することを特徴とするX線CT装置。

【請求項2】

被検体の所定のスライス面をスキャンして取得された投影データを再構成し断層像を生成するX線CT装置において、前記投影データに関連付けて取得された心電情報に基づいて前記被検体の所定の部位におけるモーションアーチファクトが少ない静止心時相のサンプル断層像を検出する検出手段と、前記検出手段が検出した静止心時相のサンプル断層像に対応する投影データを再構成して前記断層像を生成する画像再構成手段とを備えると共に、

前記検出手段は、前記投影データと前記心電情報とに基づいて心時相が異なる複数のサンプル断層像を生成するサンプル断層像生成手段と、前記複数のサンプル断層像の中からモーションアーチファクトが少ないサンプル断層像を選択する選択手段とを具え、

前記画像再構成手段は、前記選択手段が選択したサンプル断層像の心時相に対応する投影データを再構成して前記断層像を生成する手段を具えることを特徴とするX線CT装置。

【請求項3】

請求項2に記載のX線CT装置において、前記選択手段は、前記複数のサンプル断層像のそれぞれについて所定の領域内のCT値の積分値を算出し、該CT値の積分値の変動が最も少ないサンプル断層像を選択することを特徴とするX線CT装置。

【請求項4】

請求項 2 に記載の X 線 C T 装置において、複数の心拍周期にわたって取得された前記投影データを保持する記憶手段と、前記選択手段が選択したサンプル断層像の心時相に対応する前記投影データを前記記憶手段から読み出して合成する投影データ合成手段とを備え、前記画像構成手段は該投影データ合成手段が合成した投影データを再構成することを特徴とする X 線 C T 装置。

【請求項 5】

請求項 2 に記載の X 線 C T 装置において、前記サンプル断層像生成手段は、予め求められた前記心電情報と前記静止心時相との関連データに基づいて求めた所定的心時相範囲について前記複数のサンプル断層像を生成することを特徴とする X 線 C T 装置。